

令和 3年 3月 24日

令和2年度 特別の教育課程の実施状況等について

神奈川県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
LCA 国際小学校	株式会社エデュレエルシーエー	株

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の 公表ウェブサイト名・URL 等	学校関係者評価結果の 公表ウェブサイト名・ URL 等
LCA 国際小学校	https://elementary.lca.ed.jp/about/assessment?menu	左記に同じ

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

①学校における英語科の設置

②原則として各教科（国語科、第4学年以上の算数及び第4学年以上の社会科、理科・道徳の一部を除く）を英語で授業を行う

(2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

相模原市には米軍基地が三か所あり、米国軍人とその家族が暮らしている地域である。また相模原市は公立、私立の学校も多く文教都市的な性格を持っていて、学校教育の多様性や英語教育の充実を望む声も多い。このような地域の特性を踏まえ、LCA 国際小学校においては、構造改革特別区域制度（相模原市国際教育特区）により、平成20年4月から国語科等以外の教科等の授業を英語で行うイマージョン教育を行ってきており、今後も同様の取り組みを継続する必要がある。更に、LCA 国際小学校附属プリスクールにおいても英語イマージョン教育を実践しており、卒園生の英語教育の継続的な対応が必要となっている。

(3) 特例の適用開始日

平成21年4月1日（構造改革特別区域認定による特例の適用開始日：平成20年4月1日）

(4) 取組の期間

継続取り組み中

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- 一部、計画通り実施できていない
- ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

特になし

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- 実施していない

<特記事項>

特別な教育課程の実施状況の把握・検証にあたっては管理機関が認定校の自己評価および学校関係者評価の項目・内容にも関わり、評価結果を確認の上、公表した。

4. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係

各教科の授業を英語で行う英語イマージョン教育を進めたことにより、児童の日常会話はもちろん、自分の考えや意思を表現することができる基礎的な力が育成されている。児童の発言力やプレゼンテーションの力、表現力なども優れている様子が見受けられる。また外国人教師を通じて外国文化について触れる機会も多く、国際理解にもつながっている。在校生の多くが卒業までに英検2級、準2級に合格し、中には1級に合格した児童もいること、また中学校への進学の際、殆どの児童がその英語力を活かして英語利用入試で中学受験を成功させていることは、英語力を伸ばしていることの成果であるといえる。またコロナ禍においてインターネットを通じて海外の学校との交流の機会を設けた際には、児童が自然な形で英語力を活かしながら日本文化を紹介する様子が伺え、児童に英語力が身につけている効果が伺えた。また、現在国際的に活躍する卒業生（F1ドライバー 2013年度卒業）からLCA国際小学校で培ったコミュニケーション力・英語力が今に至った礎になっているという評価をもらったことから、LCA国際小学校における特別の教の編成・実施は、学校教育目標の一つである「世界を舞台に活躍できる人間の育成」の達成に向けて成果を上げていることが伺える。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

指導計画および授業の内容等、法律に規定する教育目標に照らして適切であり、学習指導要領に定める内容事項についても確認、全体管理を行っている。

5. 課題の改善のための取組の方向性

更なる英語力とコミュニケーション力の向上を図るために、児童の学習意欲を高める工夫や、指導計画・授業力の更なる向上などが考えられる。そのための施策の一つとして、現在整備を進めている ICT 機器の活用なども積極的に行い、課題改善に向けた努力を期待したい。